
写メ

VISIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

写メ

【Nコード】

N39340

【作者名】

VISIA

【あらすじ】

平凡な生活、もうすぐ夕方になる。

(前書き)

庭に綺麗な花が咲いていた。

今日のブログに載せようと、写メを撮りに庭まで出てきた。

携帯電話で写メを撮ろうとした時に突然、自分の不細工な顔が画面に出てきた。

操作を誤り、インカメに切り替えてしまったらしい。

普段、鏡で見ている顔より酷いその顔は、ひよっとしたら自分の真実の姿なのだろうか。

……。

庭から自分の部屋に戻り、鏡を覗き込んだ。いつもの美しい自分が映っていた。

インカメ状態のまま、携帯電話の画面に映っている自分と比べてみる。

……？

携帯電話を持っている手を、見えない誰かに掴まれように感じた。

そして、手を掴まれたまま、携帯電話の画面を鏡に向けられると、勝手に写メを撮られてしまった。

……。

掴まっていた手が、急に軽くなった。部屋を見回したが、誰もいなかった。

……？

撮られた写メを確認すると、合わせ鏡の時のような不思議で、赤っぽい世界の中からコチラ側を覗き込んでいる男が写っていた。

(後書き)

その気持ち悪い画像を削除しようとした時、急に着信音が鳴った。

……。

電話に出ると、低い声の男が話してきた。

「鏡を見てごらん……」

恐くなり、そのまま携帯電話をベットへ放り投げてしまう。

……。

だが、男の言ったことが気になって、恐る恐る鏡を見ると先程と変わらない自分の美しい顔が映っていた。

それが、段々歪み始め最後には鏡が割れてしまった。

ベットの上の、携帯電話の着信音が再び鳴った。

その着信音は、次第に人が叫んでいる声に変わっていった。

《アナタの美しさに、鏡が耐えられないようです。今なら超強化ガラス製の鏡を特別価格で……》

..... 152°

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3934o/>

写メ

2010年10月19日00時06分発行